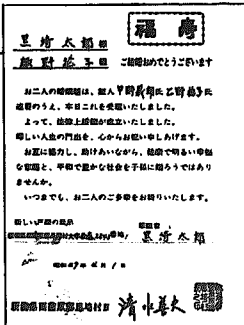


お誕生 おめでとうございませす

届出の際には証書を交付

婚姻は人生の新しい門出であり、婚姻届は届出によって法律上認められます。婚姻届が住民課の窓口へ届出られ受理されたとき、お二人の婚姻を祝して婚姻証書をお渡しいたします。黒と朱の二色刷り、婚姻届に署名された証人二人の氏名とその届によって夫婦について新しく戸籍が編成されたときの戸籍の表示と筆頭者の氏名、村長のお祝いと署名、さらに二人の婚姻を祝福された人々から折念の言葉やサインがいただける欄も配慮しました。裏面は婚姻に関する法律と親族の範囲を図解のせてあります。



出生証書は誕生した赤ちゃんにお渡しするもので、お父さんやお母さんから大切に保管していただき、その子が成長し高校入学や就職など社会の構成員としてめざめはじめた年齢になったら本人に渡していただくために贈るものです。

証書には赤ちゃんの名まえ、父母の氏名、

出生の日時と村長のお祝の言葉と署名のほか、写真の貼付欄、生まれたときの身長、生まれたときの体重、家族や親せきの人々から赤ちゃんにおくるはなむけの言葉やお渡しいたします。

全国交通安全運動

六日から十五日まで

この運動は、歩行者、運転者、運転者の雇い主、その他陸上交通に関係のあるすべての者に交通安全思想の周知徹底をはかり、正しい交通ルールの実践を習慣づけ、交通事故防止の徹底をはかる目的とする。

◎重点目標

運動の重点は歩行者事故、とくに新入児童、園児および幼児の事故を防止するため、小学校、保育所を中心としておむね半経五〇メートルを範囲として、この地域内においては、こどもの交通事故防止のために総合的な交通環境づくりと安全運動の励行をはかり、地域ぐるみの交通安全活動を集中的に行なうとともに、こどもと保護者に対する交通安全指導は母親ぐるみの指導を重点的に行なう。とくに新入学、入園前に安全な通学通園と帰宅後の交通事故防止に必要な事故について指導し、その徹底をはかる。

農業振興地域の指定は 四十八年度に

最近の農業および農村をめぐる諸条件の変化は著しく無秩序な開発、都市汚水のはたけへの流入経営の粗放化等農業にとって好ましくないさまざまな問題をひきおこしております。しかし食糧需要の動向に即応した農産物の安定供給、生産性の高い農業経営の育成を實現するためには都市化の波にも十分対抗できるような農業ができる地域を作りあげ、これを守る対策が必要となつております。このため、各地域の実情に応じ、土地利用の調整を図りながら、今後とも農業の振興を図るべき地域を明確にしたうえで、土地の有効利用と農業近代化のための措置を計画的に推進するために「農業振興地域の整備に関する法律」が、昭和四十四年七月に公布され、同年十月から実施に入りました。この法律は簡単にいいますと、前にのべましたように、今後の農業を振興する地域を明確にし、農業上の土地利用を定めると共に、近代的な農業を行なう条件である土地基盤の整備、農地保有の合理化、農業の近代的施設の整備を十分備えるようにするならば町名と施行期日についても審議を依頼した。

委員一致で町制施行については全員一致で町制施行には賛成であり、問題としては、町名その施行期日などについては活発な意見が出されており、近く答申を得られるものと思われる。

町制施行に傾く

先に村長より任命された町制施行町制委員会が去る三月一日及び三月十一日に開催し、村長より今までの経過報告と町制施行についての諮問を受けた。また町制施行

う、農業振興に関する施策を総合的にすすめるべく、町制施行の地域農業の大まかさを定めるもので、農業振興地域整備基本方針、農業振興地域の指定、農業振興地域整備計画の樹立、整備計画達成のための措置が柱となつております。基本方針は農業振興地域の指定、農業振興地域整備計画の策定にあたっての基準や、基本的な事柄がきざりにされています。農業振興地域の指定は知事がおこないます。指定にあたっては村と協議のうえ指定されます。農業振興地域は今後農業振興の基盤となる地域ですから国の農業に関する施策を集中して実施されます。土地改良事業、農業構造改善事業、近代化施設の整備事業等各種の援助措置が行なわれます。本村地域内に相当規模の農業に利用する土地があります。昭和四十七年に調査を受ける考え、昭和四十八年に指定を受ける考え、今後農業の意向調査等を実施することになりますので、農業振興地域制度をご理解され、今後のご協力をお願い致します。

するならば町名と施行期日についても審議を依頼した。委員一致で町制施行については全員一致で町制施行には賛成であり、問題としては、町名その施行期日などについては活発な意見が出されており、近く答申を得られるものと思われる。

三年目を迎えた 米生産調整

米生産調整目標数量

米の恒常的な過剰と国民の食生活の変化により米の需要が減少し、反面米以外の農産物の需要が高まることにより、国内においては稲作転換を積極的に推進する方針を打ち出しています。今年の米生産調整目標数量は全国で二百五十五万トンとし、その理由として全国の総生産見込量一千三百九十万トンの総需要量千五百五十万トン、余剰数量二百四十万トンが見込まれるが政府特設在庫調整数量二十五万トンを差引き二百五十五万トンとされた。また事前売渡申込限度数量は七百九十五万トンとし、うち政府買入数量五百八十万トン、自主流通米数量二百一十五万トンである。

米生産調整目標数量は、米生産調整目標数量一千八百六十トン、面積換算一〇三・五ヘクタール、事前売渡申込限度数量六千二百三十四トン(一万三千九百俵)がそれぞれ県から配分され、米生産調整目標数量については一千八百六十数量については六千二百三十四トンを越えない範囲内で各農家へ配分しなければならず、去る三月七日黒埼村農業生産対策協議会を開催し「配分の基本的な考え方」について協議した結果、次のようなことで配分することに決まりました。

配分方法
米生産調整目標数量
目標数量一千八百六十トン、二五五ヘクタールを昭和四十二年産、四十三年産、四十四年産の生産者別平均政府買入実績の該当者について、今年産米稲作付予定面積を基礎として配分する。過去の実績がない農家(一部保有農家)については配分しないが、自主的に申込みがなされた場合は受付けるものとする。

(一) 県の配分数量六千二百三十四トンをこえない範囲内で、昭和四十二年産、四十三年産、四十四年産米政府買入平均実績のある農家の総収量から、農家保有量を差引いた数量(出荷可能数量)を基礎として、県の配分数量との比率を乗じて得たものを配分する。

(二) 生産者別総収量の基礎となる作付面積は四十七年産米稲作付予定面積とする。農家保有量の基礎となる世帯員数は四十七年三月六日現在の住民基本台帳による。なお作付面積に大幅の移動を生じた農家者については実情を考慮して配分数量を調整することにしていく。

奨励補助金については昨年と同額で調整数量一キログラム当り六十八円が支払われ、普通転作、寄託休耕等は十アルル当り五十円、集団転作、永年転作は十アルル当り一万円がそれぞれ加算される。目

国保に理解を 手続きは違いなく

健康保険とは健康で文化的な生活のために、お互いに助け合うという考えに基づき、国民が一人残らず加入をしなければならない制度です。

健康保険には、いろいろな種類があります。これを大きく分けて職域保険と地域保険とに分けておきます。地域保険は、市町村が職域保険に加入できない住民を対象として事業の運営にあつてます。これが国民健康保険です。

医療を受けた時
八十歳以上 九割
一歳未満 七割
精神病 その他 七割

健康保険とは健康で文化的な生活のために、お互いに助け合うという考えに基づき、国民が一人残らず加入をしなければならない制度です。

健康保険には、いろいろな種類があります。これを大きく分けて職域保険と地域保険とに分けておきます。地域保険は、市町村が職域保険に加入できない住民を対象として事業の運営にあつてます。これが国民健康保険です。

医療を受けた時
八十歳以上 九割
一歳未満 七割
精神病 その他 七割

ごんごん時には手続きを	手続きに必要なもの
国保には加入する場合は	印鑑・国民健康保険証
国保をやめる場合は	印鑑・国民健康保険証・母子手帳
国保をやる場合は	印鑑・国民健康保険証
国保をやめる場合は	印鑑・国民健康保険証

先頃、新田町内の国道八号線沿いに設置された警察官の人身(無言の監視人)は、三國コカコーラから新潟交通安全協会へ寄贈されたこの度設置されたものです。激増する交通事故を防止するためあらゆる施策が行なわれていても一向に減少しない現在、一件でも交通事故を防止するための苦肉の策であります。あらゆる施策を行なっても、減少しない現在、村民一人一人が、交通事故防止にまい進して欲しいものとあります。

三國コカコーラが
無言の監視人を寄贈